

# 農林水産大臣賞

くぶきく

## 久富木区公民館（鹿児島県薩摩郡さつま町）

－「山・川・緑に人の愛」を合言葉とした自然と人との絆によるむらづくり－



「久富木区公民館」のメンバー



積極的な都市農村交流活動

### ■ 地区・むらづくり団体の概要

久富木区は、鹿児島県の北西部に位置するさつま町の南端にあり、川や山々により町の中心部と分断された地理的条件下にあることに加え、昭和後半には廃校や鉄道駅の閉鎖が相次ぎ、住民の間に閉塞感が漂いつつあった。

このため、平成7年度に、「みんなで考え、みんなで興し、みんなで拓くむらづくり」や「山・川・緑に人の愛」を合言葉とした「久富木地区活性化計画」を策定し、閉塞感からの脱却を図るためのむらづくり活動が開始された。

活動にあたっては、住民の約90名を区会議員に委嘱する等、多くの住民がむらづくり活動に参加する体制が整備されている。

### ■ 主なむらづくりの取組

#### ①農業生産面

農作業受委託組合を設立し、水稻のは種、防除等を受託するとともに、減農薬米「久富木れんげ米」や米菓子「むらおこし」の販売等、米の消費拡大に向けた積極的な取り組みを行っている。さらに、直売所「べっぴん市場」を運営し、地区で生産した野菜や米などの販路拡大と高齢者の生きがいづくりに寄与している。

#### ②生活・環境整備面

平成7年7月から毎月全戸に配布されている「久富木区新聞」は、むらづくり活動の周知、合意形成に大きな役割を果たすとともに、他出した地区出身者にも配布され新たな絆づくりにも貢献している。

また、「十年後に桜を観る会」を立ち上げ、地区内外有志の寄付により、4年で地区内に千本を超える桜を植樹し、それに伴い「ボランティア桜隊」を結成し、桜の管理を中心に地区内の環境保全に取り組んでいる。また、環境保全活動に係る費用を地域通貨「ユイ券」を発行して還元し、直売所や地区内の商店で利用できるようにすることにより、活動の継続と地区にある商店の維持にも寄与している。

さらに、「おはんが一番久富木大賞」による地区の人材の発掘や「久富木ぴんコロ村一宿一飯活動」などの都市農村交流活動等、ユニークなネーミングによる活動に意欲的に取り組むとともに、新聞配布や桜の植樹で生まれた郷土関係者との新たな交流等、特色のあるむらづくり活動を展開している。

## ■ むらづくりの特徴

この地区では、多くの住民がむらづくり活動に参加する体制が構築されており、過疎、高齢化の課題に対し、積極的な都市農村交流活動で対応するとともに、長期的な視点に立ったユニークなネーミングによる活動を継続的に行っている。

## ■ 地区データ

- 所在地：鹿児島県薩摩郡さつま町
- 地区の規模：5集落
- 総人口：707人
- 総世帯数：303世帯
- 農業就業人口：193人
- 主要作物等： 水稲、たけのこ、肉用牛



都市農村交流活動(久富木ぴんコロ村一宿一飯活動)



地区内に植樹された桜



農産物直売所「ベっぴん市場」